

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 ウェルファムフーズ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30	
本票作成	部署名：リスクマネジメント部				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	ブロイラーの肥育、処理、加工； 岡山事業所従業員数：190人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山事業所岡山工場		新見市西方1567	
	②	岡山事業所吉家E農場		高梁市備中町西山2415	
	③	岡山事業所足見A農場		新見市土橋37	
	④	岡山事業所豊永A農場		新見市豊永赤馬3240-1	
	⑤	岡山事業所足見B農場		新見市足見2177	
⑥	岡山事業所吉家B農場		高梁市備中町西山2540-2		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 20 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	10,816 t CO ₂			12,017 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	岡山事業所岡山工場		6,260 t CO ₂					
	②	岡山事業所吉家E農場		416 t CO ₂					
	③	岡山事業所足見A農場		365 t CO ₂					
	④	岡山事業所豊永A農場		300 t CO ₂					
	⑤	岡山事業所足見B農場		293 t CO ₂					
⑥	岡山事業所吉家B農場		213 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 岡山工場の生鳥処理重量 (トン)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.394 t CO ₂ / (トン)	0.375 t CO ₂ / (トン)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・生産量増強を計画しているため、総排出量の削減は困難であり、原単位での削減計画とした。
 ・原単位の分母は、岡山工場の原料生鳥の処理重量。省エネ法で国に報告しているもので、農場での生鳥の肥育にも関連していることから選定した。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・岡山工場をする製造部、農場を運営する農場部それぞれに、エネルギー管理員有資格者を配して、省エネルギーに取り組んでいる。
- ・平成27年度より、工場の設備管理の専門部署である工務課を製造部に設け、設備管理をより推進できる体制となっている。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> ・管理標準を作成し、エネルギーの管理を強化している。 ・製品の輸送を氷蔵からチルド輸送に切り替え、氷の輸送に係るエネルギー（製品比5～10%）を削減できている。
全農場	<ul style="list-style-type: none"> ・農場で発生する鶏糞を、農場内で焼却し、鶏糞搬出に要するエネルギーを削減できている。 ・農場における照明をLED化し、使用電力量の削減できている。 ・農場で使用する主要資材（オガ粉）の保管場所を農場近接地に移動し、輸送に係るエネルギーを削減できている。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	<ul style="list-style-type: none"> ・新規設備投資に伴い、管理標準を更新し、エネルギー管理を継続強化する。 ・工務課員を中心に、エネルギー管理員有資格者を増員し、省エネルギー体制を強化する。
全農場	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、建設予定の農場でも、鶏糞焼却炉を農場での熱源として利用する。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	鶏糞焼却炉の熱を隣接する鶏舎で使用する熱源（以前はLPG）として、11農場で導入している。
その他	有	上記と同様の仕組みを宮城県の農場の一部で導入している。

【その他特記事項】

--